山形県

山形県退職校長会

設立 昭和40年10月23日

結成からのあゆみ

昭和40年に4つの目標を掲げ、349名で本会を設立。以来、12支部が結成され、本会の基礎が確立され現在に至る。結成時の目標は次のとおりである。

(1) 教育県山形の建設 (2) 社会教育への寄与 (3) 福祉県山形の建設 (4) 総合福祉の充実 促進 この目標は、時勢にあった表現へと変遷してきたがその趣旨を現在も継承している。平成26 年には結成50年の節目の年を迎え、式典・祝賀会(平成26年10月23日)を開催した。

会員の構成・組織

- (1) 会員:小・中・高・特別支援学校の退職校長及び趣旨に 替同する替助会員で構成
- (2) 評議員会:総会に代わり、評議員会を開催し、会則、役 員選出、予算等重要事項を審議
- (3) 理事会:評議員会の提出議案、会務執行等を協議
- (4) 支部:各支部で年間計画及び予算、事業等を策定し、活動を推進
- (5) 事務局会:会長、副会長、幹事等で構成し会務の立案、 事務執行等
- (6) 評議員:各支部から2名選出。理事、幹事は会長が委嘱 活動状況
- (1) 本県教育の振興に寄与(目的達成の中核)
 - ・この10年間は、「教育の日制定」に向けての事業を展開 し、その成果があり平成24年度に「やまがた教育の日」





結成50年記念式典

が制定された。今後は、協賛事業を通して、教育の日の趣旨の理解と定着を図ると共に世論の 喚起を促し、山形教育の振興に寄与する。

- ・現職校長会との懇談会や県への要望書の提出等を実施し、喫緊の教育課題解決のために現職校 長会を支援する。
- (2) 会員の親睦と福利・厚生の拡充
 - ・会報(年2回)、記念誌等を発行し、支部、会員の親睦、相互交流を推進する。
 - ・全連退、退公連及び関係団体等と連携し、会員の生活の安定に係る課題の共有と改善及び広報 活動等を推進する。
- (3) 組織活動の強化と充実
 - ・本会の趣旨を伝えながら、積極的に加入を勧め、組織の安定・強化を図る。
 - ・各支部と連携し県事業を推進するとともに、支部活動充実のために活動費を助成し、支部の自 主活動等を支援する。